

令和7年第15回（定例会）

厚真町教育委員会会議録

1 開会

令和7年12月25日（木）14時30分

2 閉会

令和7年12月25日（木）16時30分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 長門 茂明 金光 えり 池川 徹 日西 大介

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 阿部 雄史

生涯学習課参事 乾 哲也

5 会議録署名委員の指名

（ 長門 茂明 ）

（ 金光 えり ）

6 教育長報告

(1) 行事参加等の動向 (資料1)

(2) 令和7年第7回厚真町議会臨時会（12月2日）

・厚真町教育委員会教育長の任命について

・補正予算（第10号） (資料2)

(3) 令和7年第4回厚真町議会定例会（12月11日～12日）

・補正予算（第11号） (資料3)

【質疑】

池川委員：ガソリン等の単価は下がっているが、スクールバスの燃料費補正増理由は何か。

阿部課長：スクールバスの走行不能の緊急修繕が入り、修繕不足額を一時的に同じ需用費内の燃料費から支出した分の補填となっている。

7 所管報告

学校教育グループ

- (1) 厚真町教育支援委員会（12月3日（水））（資料4）
- (2) 生徒指導連絡会議（12月5日（金））（資料5）
- (3) 教育研究所第4回運営委員会（12月9日（火））（資料6）
- (4) 12月定例校長会議・教頭会議（資料7）

学校給食センター

- (1) 食物アレルギー研修会／12月16日（火）／総合ケアセンターゆくり18人／こども園つみき16人／2回実施、参加者計34人（資料8）
- (2) 学校給食アンケート結果（資料9）

【質疑】

池川委員：アンケート結果で給食センターへの寄贈食材で「嫌い」とあるが、どの様な背景か。

教育長：地元食材での食育の目的もある。調理方法やメニューを検討する必要があるのではないか。

阿部課長：ただし、同じ食材でも「大好き」との回答も一定比率得られているのでアンケートでは好みが分かれる結果となっている。

社会教育グループ

- (1) 英会話教室第2期／10月1日～12月3日（毎週水曜日開催）／青少年センター／登録者20人／合計20回実施、参加者延べ100人

- (2) 第2回・第3回二十歳のつどい実行委員会／9月17日、10月28日(オンライン開催)／参加者4人／記念品の決定(木のボールペン)、アトラクション内容検討(厚真町に関するクイズを実施予定)、実施に向けて代表者決定

※現在出席者32人

- (3) 放課後子ども教室特別教室「あつまの美味しいカレーランチパーティー」／11月29日(土)／参加者40人／厚北地域防災コミュニティセンター「ならやま」
- (4) 第3回ディスカバリーカルチャー／11月30日(日)／参加者14人／青少年センター／講師:札幌市天文台 横山明日香氏／天体観望会と合わせて実施
- (5) 平取町アイヌ文化施設見学ツアー／12月14日(日)／参加者18人／沙流川歴史館、二風谷アイヌ文化博物館
- (6) 第4回厚真未来カレッジ／12月20日(土)／参加者24人／総合福祉センター／講師:宇宙ナビゲーター 村木 佑介氏

【質疑】

なし

8 協議事項

- (1) 令和8年度英語教育推進事業について (資料10)
- (2) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」の市町村別結果の掲載について (資料11)
- (3) 厚真町教育サポートセンターの設置について (資料12)

【質疑】

池川委員: 英語教育推進事業でのイングリッシュキャンプの32名は一回で東京へ行けないか。8名4回での東京での英語研修か。

阿部課長: 受入施設の単位が8名となっている。

池川委員: 1回で行ければ経費も安価になる。修学旅行に組み込むことはできないのか。

阿部課長：初めての事業であり、現状はこの回数、条件で実施したい。

次年度以降、様々な取組を検討したい。

9 その他

- (1) 厚真町教育振興基本計画（案）について（資料 1 3）
- (2) 令和 7 年度胆振管内教育委員会委員研修会について
・ 1 月 2 0 日（火）室蘭市（資料 1 4）
- (3) 総合教育会議の開催について
・ 令和 8 年 2 月 2 4 日（火）に開催予定
- (4) 第 1 回あつまスケートまつりの開催について（資料 1 5）
- (5) アレルギー給食について（資料 1 6）
- (6) 令和 8 年新年会の案内について（1 月 1 5 日（木） 1 8 時～厚真園）

【質疑】

金光委員：振興基本計画において小規模校の利点を活かすことは重要だが、現状の強みや課題を丁寧に分析し、それが今後の教育方針とどう結びついているのかを、より具体的に示していく必要がある。

教育長：現状の計画は、課題解決に重きが置かれている。厚真町には独自の環境や特性があり、それらを通じて児童は良い成長を遂げている。子供たちが持つ強みや可能性を「いかに伸ばしていくか」という前向きな視点がある。

金光委員：子供たちの成長を、学力テストや体力テストといった数値のみで評価すべきではなく、子供たちの特性や地域特有の強み・弱みを多角的に捉える視点が不可欠である。厚真町の子供たちの実態に即した特色を十分に踏まえ、何を重視し、どう伸ばしていくのかという本質的な教育の方向性を明確に示すべきである。

教育長：10年間の計画を策定する上で、現場の教師や保護者・地域が感じていることをどう反映させるかが重要で、それが計画の「根拠」となる。そうしたプロセスを可視化しなければ、形だけの計画になってしまう懸念がある。

金光委員：どこにでも通用する計画となっている気がする。もう少し、厚真らしさがあって良い。

池川委員：町外の方が見て、この町で教育受けさせたいなと思えるようなものが良いのでは。各学校でも子どもたちの実態をみて、方向を出している。厚真町としての特徴を反映しているか。

教育長：実際には目を通しやすい概要版であるのが理想。

池川委員：町内の子どもたちにより優れた教育を経験できる場として、学校との連携的効果が出てないようなイメージもある。学校と一体連携し目的に向かっていくような対策が必要である。

教育長：この機会に町の、地域の思いを共感出来るよう学校長に情報共有も行う。

金光委員：個々の教職員への共有も願いたい。

長門委員：学校長の負担も増えるが、教職員も共感できるよう努めて頂きたい。全体的には厚真町の教育にリンク、共有できれば良い。

池川委員：カタカナの専門的用語が多い。誰もがイメージできる、簡単な分かりやすい用語に変更することはできないか。

阿部課長：国や道の上位計画も使用しており、これを踏襲している。

1 0 次回委員会の開催日程

- ・ 1月29日（木）午後2時30分（予定）

1 1 閉会